



『ヒ素報道に負けるな！ テクアの泉第2号と歴代総理とオバマさんと 気づきと変革』の関係



皆様、新年明けましておめでとうございます。
みなさんお待ちかねのテクアの泉第2号がめでたく完成したとカンボジアのメイクザヘブンさんから連絡がありました！！
パチパチパチパチ！！！！！！

本当に現地のスタッフの方々の地道な努力には頭が下がります。我々は送られてきた写真を見て喜んでいるだけです
が、灼熱の太陽の下で、大地にポタポタとしたり落ちたであろう大粒の汗と涙を想像する必要があると思います。村の人
たちの喜ぶ顔がひと目見たい！という一心で、無心に井戸を掘り続けた日本の若者達の姿が目には浮かびます。日本には
まだまだ素晴らしい若者がいっぱいいます！！！！

実はこの井戸掘りに関して以前、残念な報道がありました。

カンボジアには日本から来た数々のボランティア団体が掘った井戸がたくさんあるらしいのですが、その中の何基から高
濃度のヒ素が検出され、たくさんの村人がヒ素中毒にかかってしまったとのことでした。

カンボジアの土壌にはヒ素が含まれていることが多いらしく、それが地下水に溶け込んだのが原因だそうです。

ヒ素は自然界の物質なので日本の土壌にももちろん含まれているため、我々も飲み水として摂取している可能性があり
ます。ただし許容値があり、日本の場合は10ppb以下だそうです。発展途上国は50ppb以下と定めているところが多い
らしく、カンボジアも50ppb以下なら飲み水として認められるのだそうです。

この50ppbという値は100人に1人発ガンする可能性があるという値だそうです。発がん性と、1日に何回も何百メー
トルも離れているところに水を汲みに行かなければならない生活苦をはかりにかけて国が決定している値といってもいいの
ではないでしょうか？

テクアの泉は10ppbだったそうですので、日本の飲み水の基準も満たしている為、かなり使える井戸ではないかと思
います。

ただ、我々の井戸は大丈夫だったとはいえ、この件にはかなりへこまされました。

安易なボランティアがまねいた災害、旅行気分の自分本位な行為の大きなツケ、井戸を勝手に掘っておいてヒ素の濃度も
測らないのか？そんなことは常識だぞ！！カンボジアの土壌にはヒ素が多く含まれていることも知らずに掘ってたのか？
もしかして知っていてそのまま放置していたのか？

ネット上での世間様のご意見はだいたいこんな感じでした。

我々が工事をしていて、何か事故が発生したときでも、大体このような耳の痛い意見を洪水のように浴びながら、一生懸
命与えられた現状の中で何とかやろうとしてきたのにそこまで言われるのか？という悔しい思いをかみ殺し、課せられた課
題を一つ一つクリアしていかなければならないのが常であるので、今回のカンボジアのボランティアの方達も、悔しい気持
ちは黙して語らず、与えられた課題を一つ一つクリアして、より安全な井戸づくりに邁進してもらいたいと思います。

少なくともテクア技研はテクアの泉100号までは支援させていただくつもりです！！懲りてません！！どんどん掘って、
ヒ素はしっかり計って、濃度高そうなら埋めるかフィルターつけて、毎年定期自主検査して、記録を最低50年間は保管し
て、日本の法令並みに改善しながら取り組み、村の人たちを喜ばせてあげてもらいたいと思います。それで余計なコスト
がかかるのであれば、そのことをきちんと告知して、募金の金額を上げればいいと思います。

私も以前は先頭をきって真っ黒になって働くだけの経営者だったのですが、
いまはそれだけでは会社と社員の生活をさまざまなリスクから守ることが出来な
くなってしまったので、経営のプロを目指して猛勉強をしている最中です！！

そんな中、1枚の写真を週刊誌で発見してしまいました！



矛盾だらけの現場とお国が定めた正論をどう折り合わせしていくのか、必死に考え、取り
組み、不況も乗り越え、従業員の雇用も確保しないとイケないこの状況の中で、これはあ
まりにKYな写真過ぎます！！お昼寝中の歴代総理大臣様！！！！

多分、『これだけ毎日国民のことを思ってがんばっているのに、どうしてこういった瞬間だ
け記事にするんだ！！』とお考えのことでしょう。

しかしながら、『この写真は日本の若者の日本に貢献しようとする気持ちや、エネルギー
を奪っている！』

という世間様の耳の痛いご意見も、真摯に受け止め、居眠り体質を是正する必要がある
と思います。

このオバマさんの写真の靴の裏どうでしょう？何かこれから世界を変革していくようなワクワクした可能性を若者に感じさ
せてくれる画像ではないでしょうか？(実は昼寝しているのではなく電話されているみたいです！失礼しました！！)

『ゴミを拾う人はゴミを捨てなくなる』。掃除の世界ではそう云われています。『人に何かを教えようとする人は、自ずと自
分を律するようになる』。教師、講師、政治家の世界ではそう云われているのではないのでしょうか？日本全国津々浦々、他
人事ではなく、一人ひとりに気づきと変革が求められている時代だと思えます。

555人の 2009年2月15日(日)開催
講師サミット2009
～日本を元気にする！講師・教師のイベント～



日本を良くしたい！と思っている全国の講師、教師が一堂に会する、『講師サミット』というイベントが2月15日に開催さ
れます。私も経営者ではありますが、社内で安全、命の大切さを伝える講師として、微力ながらスタッフとして参加させて
いただこうと思っております。

『あの時の、あの人の、あの言葉で、あの姿で、大切なことに気づいて、仕事に取り組む姿勢が変わった！

人生が変わった！！』そんなたくさんの若者を輩出し、全国に支店を展開し、世の中を少しでも良くしていく活動に貢献し
ていきたい！！そんな夢を見ている2009年の新春です！！。

感謝！株式会社テクア技研 代表取締役 羽原篤史 